

平成20年度「福島議定書」事業【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立橘高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>水道については、音姫（擬音が出る装置）を設置したことが大きな効果があった。</li> </ul>
福島県立福島商業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>未使用教室の消灯</li> <li>不要な照明器具の消灯の徹底</li> <li>水道水の無駄遣いの排除</li> </ul>
福島県立福島明成高等学校	H19入賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室移動の際の消灯。使用していないトイレの消灯。使用していないパソコンの電源オフ。</li> <li>掃除のときの水の無駄使いをなくす。手洗いのときに水を出したままにしない。</li> <li>福島議定書のポスターを作成し、呼びかけをした。</li> </ul>
福島県立福島工業高等学校		<p>生徒会としての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>週始めの月曜日の朝の自習時間を利用して啓蒙活動をした。（校内放送で呼びかけなど）</li> <li>副H R長を招集し、議定書事業を推進する暫定組織として任務を遂行（各クラスでの啓蒙）。</li> <li>放課後に各教室、トイレや廊下等を巡回し、消し忘れなどの点検を行い、不備を補った。</li> </ul>
福島県立福島西高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>節電、節水に取り組んだ。</li> </ul>
福島県立福島北高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>10月1日の全校集会時に生活委員会委員長が福島議定書の運動推進内容を説明し全校生徒に協力依頼した。</li> <li>生活委員会によるポスターの作成と校内掲示を行った。</li> <li>各クラスにも福島議定書の内容を掲示した。</li> <li>月1回、チェックシートを各H Rで実施した。</li> </ul>
福島県立福島南高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ推進委員会を設立し、全校生徒に呼びかけた。</li> <li>不必要な電気製品（充電器等）を学校に持ち込まないよう呼びかけた。</li> <li>歯磨きの時のコップ使用を呼びかけた。</li> <li>ポスターを各クラスで作成し、教室やトイレ等に掲示した。</li> </ul>
福島県立保原高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>電気（少数で教室にいるときは必要などところだけ点灯する。わずかな時間でも教室を離れる場合は消灯する。廊下は夜以外点灯しない。）</li> <li>水道（トイレでは水の流しを1回とする。）</li> <li>冷暖房の適正温度順守。室内温度に応じて切替をこまめに行う。</li> </ul>
福島県立安達高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>校内各所に生徒会作成の「省エネチャレンジ福島」を掲示し、全生徒・教職員に呼びかけた。</li> <li>トイレを使用しないときは必ず電気を消すようにした。</li> <li>職員室なども不在の時は必ず消灯するとともに、使用していない所も消すようにした（部分消灯）。</li> <li>体育館では授業・部活動で使用する以外は必ず消灯するようにした。</li> </ul>
福島県立二本松工業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>使用していない教室の電気、暖房を消す。</li> <li>ごみの分別を細かく行い減量化を図る。</li> <li>呼びかけを何度も行う。</li> </ul>

平成20年度 「福島議定書」事業 【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立本宮高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電、節水を、経費節減及びエコ推進を念頭に、常日頃から全校あげて徹底を図ってきた。</li> </ul>
福島県立福島中央高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時制高校なので、教室移動のときの消灯に特に注意した。</li> <li>・プリントの裏面などを再利用し、ごみの減量化を行った。</li> </ul>
聖光学院高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房の設定温度を2℃替えた。</li> <li>・ペットボトルのキャップの回収。</li> <li>・誰もいない教室の電気を消す。</li> <li>・今年度から暖房設備がエアコンになり比較が難しくなった。</li> </ul>
福島県立安積高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は特に制服を定めていないので、快適でかつ二酸化炭素が少なくなるよう、学びの場に相応しい服装を主体的に選択することを目指した。</li> <li>・生徒会が中心となり「生徒会新聞」「放送」「オリジナルポスターの掲示」を行い、意識向上を図った。</li> </ul>
福島県立安積高等学校御館分校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年からできた男子新体操部が熱心に体育館で練習するようになり、電気量は増えてしまった。</li> <li>・水道は水漏れがなくなったことや生徒たちの意識が高まり、削減できた。</li> </ul>
福島県立安積黎明高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動で、節電・節水、節約等のポスターを作成し、校内に広告した。</li> <li>・教室の扉に「省エネ・開放厳禁」「省エネ・節電・節水」等の標語を貼り、参加を呼びかけた。</li> <li>・校内放送で節約の呼びかけを行うことを習慣化した。</li> <li>・部活動の時間等のけじめをきちんとするよう、生徒委員会や全校集会で呼びかけた。</li> <li>・生徒・保護者の協力を得て資源回収を行い、トイレットペーパーに交換した。</li> </ul>
福島県立郡山東高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会で福島議定書による本校の取組項目・削減目標を知らせ、共通の認識で取り組むよう呼びかけた。</li> <li>・ポスターを校内に掲示し、電気及び水道の使用量削減を呼びかけた。</li> <li>・暖房の設定温度を19℃とし、適正な使用を心がける。</li> <li>・両面印刷、反故紙の再利用、封筒の再利用など、節約とごみ減量化に努めている。</li> </ul>
福島県立郡山商業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球とアクセルにやさしい運転操作で無事故・無違反による燃費向上と職員不祥事の絶滅を職員に呼びかけた。</li> </ul>
福島県立郡山北工業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍光灯のスイッチをこまめに消すなどの呼びかけを盛んに行い、各教室への掲示で喚起を促した。</li> <li>・毎週末に、使用しない男子入れの小便器用水タンクの元栓をこまめに締めるなどして水道量削減に努めた。</li> </ul>
福島県立あさか開成高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電・節水のポスター作成・掲示</li> <li>・電灯スイッチに節電シールを貼った。</li> </ul>

平成20年度 「福島議定書」事業 【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立湖南高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内に節電を呼びかけるポスターを掲示した。</li> <li>・トイレや水洗い場にEMせっけんを置き、水質浄化、節水に努めた。</li> </ul>
福島県立須賀川高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電、節水に努めた。</li> </ul>
福島県立須賀川桐陽高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の電気の管理を徹底する。</li> <li>・ゴミ袋を無駄にしない。</li> <li>・トイレットペーパーを無駄にしない。</li> </ul>
福島県立清陵情報高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室や実習室の電灯は人がいないとき消灯（少人数の場合は必要な所だけ点灯）。廊下は暗いときを除き点灯しない。便所は使用時だけ点灯。水を流しっぱなしにしない。パソコンの蓋閉じ又は電源オフ。退室時のOA危機の電源を抜く。放課後の学習は必要な所だけ点灯（理由なく居残っている生徒を下校させる）。</li> <li>・議定書の写しを各教室に掲示。各電灯スイッチに点灯範囲を表示。実績値をグラフにしてお知らせ。</li> </ul>
福島県立長沼高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会による、休み時間等における教室消灯の生徒への呼びかけ。</li> <li>・貼り紙作成による節水の呼びかけ。</li> <li>・職員による事務室・職員室における節電・節水</li> <li>・放課後に図書室を開放（バス待ち等で残っている生徒を教室から移動）。</li> </ul>
福島県立岩瀬農業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の授業前に学友会の生徒が校内放送を使って省エネを呼びかけた。</li> <li>・科によっては、ごみを再利用する研究や取組みをしている。</li> </ul>
福島県立石川高等学校	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電（昼休みは電気を切る。放送委員がお昼の放送で節電を呼びかけ。ポスターの作成・掲示。）</li> <li>・節水（節水に関するポスターの作成・掲示）</li> <li>・ごみの分別（ポスターの作成・掲示。分別の呼びかけ、エコキャップ運動（ワクチン））</li> </ul>
福島県立田村高等学校		<p>福島議定書実行委員会を立ち上げて取り組んできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電に積極的なクラスの表彰。広報誌「Yes We Can」の作成（月1回）。ブルーリボン作成（本活動のアピール）。ポスター、スイッチ案内の作成。校内の節電・節水チェック巡回（冷蔵庫の点検、ストーブの温度設定等を含む）。</li> </ul>
福島県立小野高等学校平田分校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のない教室の照明や廊下の蛍光灯は消すようにした。</li> <li>・職員室において不在の席付近の照明はこまめに消すようにした。</li> <li>・印刷機、パソコン、電気器具、放送室電源は使用後に電源を切るよう心がけた。</li> <li>・トイレ使用や洗い物は無駄に水を流さないようにした。</li> <li>・やむを得ない場合を除き、職員の退勤は19時15分（冬季は18時45分）を目標とした。</li> </ul>
福島県立小野高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室、特別教室、廊下等において照度影響の少ないヶ所の蛍光灯の間引きをした。（計140本）</li> <li>・必要のない箇所の電源をこまめにオフ（電灯、パソコン、印刷機など）</li> <li>・水道を流しっぱなしで使用しないよう協力をお願いした。</li> <li>・教職員は機械警備の時間までできるだけ退勤するよう協力をお願いした。</li> </ul>

平成20年度「福島議定書」事業【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
帝京安積高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリキャップを回収し、エコキャップ推進協会へ送付している。 (今年度は約14,000個：ポリオワクチン1人分は800個。17人分)</li> <li>・プルタブ回収(買取業者の選定中)し、ユニセフ、福祉に利用の見込み。</li> <li>・ペットボトルを再利用して模擬花木を作成中。校門を飾ろうと計画。</li> </ul>
日本大学東北高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業などで教室を使用しない時には教室の照明・エアコンのスイッチを切っている。</li> <li>・校舎内(教室・廊下等)の不必要な蛍光灯はこまめに消灯している。</li> <li>・ボイラーの燃料消費量を少なくするよう、こまめに電源管理している。</li> </ul>
郡山女子大学附属高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・A重油暖房と給湯ボイラーをGHP個別空調機に更新し、本校の環境対策前のH13比で26%削減できた。</li> <li>・4番目の学校林「安子ヶ島 開成の杜」に檜5,000本の植樹体験を実施し、エコマインドの啓蒙を行った。</li> <li>・一般廃棄物の削減で、リサイクルの徹底、再資源化の増加により、対前年度比13.8%の削減を達成した。</li> <li>・印刷・コピー用紙の削減では、対前年度比13.45%の削減を達成した。</li> </ul>
学校法人石川高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容を説明。目標を示し、節電・節水の具体的な行動を呼びかけた。</li> <li>・毎日計測した。</li> <li>・前年度と比較したグラフを掲示し、目標達成の意識付けをした。</li> <li>・昼休みの時間帯で実情を伝え節電・節水を促した。</li> </ul>
福島県立白河旭高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスのHR長を通じ、クラスで節電・節水を呼びかけた。</li> <li>・電源スイッチに「節電カード」を、水道の壁面に「水を大切に」のカードを貼り、節電・節水を促した。</li> <li>・生徒会新聞「サンライズ」に節電・節水の記事を載せ、全校生に配り、協力を呼びかけた。</li> <li>・昼の放送で毎日、節電・節水について呼びかけた。</li> </ul>
福島県立塙工業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の照明をこまめに消すことで温暖化防止に取り組んだ。しかし、耐震化大規模改造工事と時期が重なり、足場と工事シートで覆われたため、教室が暗くなり、照明使用時間が増えてしまった。</li> <li>・学校祭において、エコに配慮した取組みをした。(準備段階から節電・節水。模擬店から出るごみの分別収集し、わりばしを製紙会社に送り、用紙等に再生する取組みをした。わりばし2kg回収)</li> </ul>
福島県立棚倉高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成の要因に、生徒数の減によるところも大きいと思われる。</li> <li>・修明高等学校となっても継続して地球温暖化防止のための二酸化炭素排出量の削減に努めたい。</li> </ul>
福島県立東白川農商高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の授業等で、温暖化のメカニズム、二酸化炭素増加原因等の理解を深め、本事業の参加意義を確認した。エコチェック項目の数値根拠をネットで調べたりして二酸化炭素削減効果について理解した。</li> <li>・学校内では、こまめに消灯、待機電力カット、用紙類の裏面利用、ごみ分別の徹底などに取り組んだ。家庭でもエコバッグ利用や風呂の残り湯を洗濯にするなどの取組みが聞かれた。</li> <li>・ものを大切に使う価値観を見直し、様々な環境問題への関心が深まり、個々の責任について理解が進んだ。</li> </ul>
福島県立東白川農商高等学校鮫川分校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室・特別教室・廊下等の照明を未使用時は消すことを徹底した。</li> <li>・手洗いは歯磨き等、水道水の使用で不必要に出しっぱなしにしないことを徹底した。</li> <li>・ごみの分別化を図り減量化に努めた。天候に応じて暖房の使用を制限した。</li> <li>・職員の出張の精選化を図り、各自の燃料使用の削減に努めた。</li> </ul>
福島県立会津高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会長から全生徒への校内放送による協力要請。各クラスやトイレ・手洗い場にポスター掲示。生徒会広報誌「絆」に福島議定書の説明や努力内容を掲載。掲示板に福島議定書・参加証を掲示。などによりエコ活動の啓蒙を行った。</li> <li>・その他のエコ活動として、古紙回収の実施、廊下蛍光灯の間引きを行っている。</li> </ul>

平成20年度「福島議定書」事業【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立葵高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚委員会や家庭クラブを中心に生徒の活動として取組みを進めている。</li> <li>・クラスのごみ捨て状況に関するアンケート実施。地球にやさしい“ふくしま”高校生CMコンテスト準グランプリ受賞。ごみ分別イラストコンテスト。各クラス議定書の掲示。エコ活動テーマ決定「目指せエコラー！」</li> <li>・今後、エコ活動週間やペットボトルアートなどの活動を予定している。</li> </ul>
福島県立会津学風中学校・高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント（学風エコプロジェクト）のクラス掲示。全校集会での福島議定書への参加報告と協力依頼。エコ委員の設置、リサイクル集積ゴミ箱の設置。</li> <li>・節電・節水の呼びかけ</li> </ul>
福島県立若松商業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律委員会を中心に余分な電灯の消灯を実施。廊下の電灯の間引き。</li> <li>・暖房運転は、オン・オフの時間や方法を周知し、厚着を呼びかけながら学校が一体となって灯油使用量の削減に取り組んでいる。</li> <li>・中間報告も行っている。</li> </ul>
福島県立喜多方高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな消灯の励行。</li> <li>・使用教室等の集約化。</li> <li>・水の流しっぱなしをしない。</li> </ul>
福島県立喜多方東高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒集会時に福島議定書への協力を呼びかけ、主に以下のことに取り組んできた。</li> <li>・授業等で教室を空ける際には、当番の生徒が電気を消した。水道は出したままの状態にしない。</li> <li>・職員室の部分消灯。パソコンのこまめな電源オフ。退勤時に使用電源のチェックを実施。</li> <li>・教室や廊下等の目立つところに議定書を掲示すると共に、来校者や保護者・地域住民に協力を呼びかけた。</li> </ul>
福島県立喜多方商業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の移動の際には、電気と暖房を止めている。</li> <li>・パソコンの電源は使用時だけとした。</li> </ul>
福島県立喜多方工業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の照明を消灯する係を、クラス毎に特定の生徒を選んで任せることとした。</li> </ul>
福島県立猪苗代高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月30日に1学年生徒全員及び教職員により、猪苗代町内（学校周辺・通学路）の清掃を実施した。</li> </ul>
福島県立耶麻農業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員が中心となり、取組目標を示した模造紙を作成し、昇降口等に貼り付けを行い、呼びかけた。</li> <li>・巡回し消灯を行った。</li> </ul>
福島県立西会津高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で使っていない教室やトイレ等の電気を消すよう、生徒会を中心に呼びかけ節電に努めた。</li> <li>・必要以上に水を使わないよう、生徒会を中心に呼びかけ節水に努めた。</li> </ul>

平成20年度 「福島議定書」事業 【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立大沼高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒大会要項に本校の取組を掲載し、生徒会役員が全校生に説明し啓蒙を図った。</li> <li>・節電・節水呼びかけるポスターを生徒会中心に作成し、教室・手洗い場・トイレに掲示した。</li> <li>・各教室の蛍光灯スイッチで窓側用に赤いテープを貼り、明るいときの消灯をスムーズにした。</li> <li>・廊下、階段用にも同様に、赤いテープを貼り付けた。</li> </ul>
福島県立川口高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していない教室や、休み時間における積極的な消灯の励行。</li> <li>・資源ゴミ等の分別の徹底。</li> </ul>
福島県立坂下高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房用エアコンの使用量が大きいため、図書室・情報処理室の夏期休業中及び9月の使用を極力抑えるようにした。</li> <li>・トイレの水道使用量が大きいので、特に消音のために流すことなど、使用量減少に協力を求めた。</li> </ul>
福島県立会津農林高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・議定書を各クラスの掲示板に掲示した。</li> <li>・クラス代表者（ホームルーム長）会で呼びかけた。</li> </ul>
福島県立南会津高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に校舎を巡回し、未使用教室の電灯を消灯する。</li> <li>・暖房用ボイラー（A重油）については、授業終了とともに運転を停止。</li> <li>・放課後に勉強する生徒には、図書室に集合させ、石油ストーブで暖房を行っている。</li> </ul>
福島県立只見高等学校	H20優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使われていない教室やトイレ使用後は、電気と換気扇を切っている。</li> <li>・教室、職員室、手洗い場に「もったいないカレンダー」の絵を拡大して貼り、意識向上に努めている。</li> <li>・暖房運転は気温に応じて時間短縮やバルブを閉めるなどし、重油使用を極力抑えている。</li> <li>・放課後に学習する生徒には石油ストーブで対応とし学年の一つとしている。</li> <li>・保護者に対しても家庭における温暖化防止活動の実践を呼びかけている。</li> </ul>
福島県立双葉高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源スイッチ、水場、トイレ等に、節電・節水呼びかけるポスターを掲示した。</li> <li>・生徒会代議員会、生徒総会で取り上げ、全生徒に周知した。</li> <li>・毎日の昼休みに生徒会役員が校内放送で呼びかけた。</li> <li>・前年度比較を生徒に示し、達成度を確認させた。</li> </ul>
福島県立浪江高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再利用紙を用いてポスターを作成・掲示し、目標達成のため、節電・節水を呼びかけた。</li> <li>・福島議定書参加証をコピーし、校内に掲示した。</li> <li>・教室を離れる時や昼休みは電気を消すよう各クラスに呼びかけ、実行した。校内巡回で消灯に努めた。</li> <li>・手洗い等の水を無駄に出さないように呼びかけた。</li> </ul>
福島県立浪江高等学校津島分校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していない施設等の電気をこまめに消す（教室・廊下・トイレ・換気扇・エアコン・パソコンなど）。</li> <li>・水の使用は必要最小限にする（水道、トイレ）。</li> </ul>
福島県立富岡高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員がポスターを作成し、節電・節水を啓蒙した。</li> <li>・学校内の暖房は晴れた日は2校時くらいでボイラーを止めている。</li> </ul>

平成20年度 「福島議定書」事業 【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立富岡高等学校川内分校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が社会科の授業の一環で校舎内にエコを呼びかけるポスターを掲示。</li> <li>・教室を使用しない時に電気を消すだけでなく、昼間では廊下や使用中の教室でもできるだけ消灯している。</li> <li>・井戸水を使用しているので水道料金がなく、汲み上げる際に電気を使用している。</li> <li>・生徒全員の意識が高く、教師から言われなくても実践している。</li> </ul>
福島県立双葉翔陽高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、電気と水道の使用量を確認し、掲示板に表示するとともに、グラフ化して回覧している。</li> </ul>
福島県立相馬高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電、節水に努めている。</li> </ul>
福島県立原町高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会で生徒への呼びかけを実施。</li> <li>・教室を離れる際の消灯などは以前からかなり徹底されており、大きな削減にはならなかったが、今後も取組みを継続していきたい。</li> </ul>
福島県立相馬農業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室等の利用について、こまめに電気を消す努力をしている。</li> <li>・水の使用についても、最低限の利用に努めましようとして声をかけている。</li> <li>・暖房については、使用時間、設定温度、暖房使用教室の確認を徹底している。</li> </ul>
福島県立小高商業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成に向け、使用しない教室の消灯やトイレ・手洗いの節水を心がけ活動できた。 (臨時的な校舎使用により目標達成には至らず)</li> <li>・文化祭を「Touch eco」をテーマに取り組み、全校生による小高市街地の清掃活動の実施、ごみの分別回収、小道具や会場作りには廃材を活用、入場門は数年前のものを使用しペットボトルのふたで文字を表した。</li> </ul>
福島県立小高工業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で「チーム・マイナス6%」を掲げ、「節電」「節水」「省エネ・省資源」実習時の「安全第一」を推進、実践した。この4項目推進のためにラベルを作成し該当箇所に貼付し意識を高めた。</li> <li>・家庭や地域に福島議定書の趣旨を呼びかけ、取組協力を依頼した。</li> <li>・学校周辺を含む小高区内のクリーン作戦や、小高駅から学校までの通学路のゴミ拾いを生徒会で毎月実施している。不要の体操着や実習着を回収し再利用運動を行っている。</li> </ul>
福島県立新地高等学校	H20優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電、節水に関する生徒作成ポスターの掲示。</li> <li>・日々の朝のSHRでの呼びかけ、昼休みにおける生徒会役員の校内放送での呼びかけ。</li> <li>・文化祭のテーマを「未来への架け橋－Enjoy Eco－」とし、環境の大切さを認識しエコを実践。(クラス毎にエコに取り組んだ結果等を発表)</li> </ul>
福島県立磐城高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後に各教室で居残り自主学习している生徒に、図書室や講義室の利用を促している(光源の効率的活用)。</li> <li>・校内巡視や校内放送によって部分消灯等、節電の協力を呼びかけた。</li> <li>・トイレや廊下等の照明は、日中の明るい時には消灯した。</li> <li>・教職員には退勤時間の徹底などによる光熱費の節減の協力を求めた。</li> </ul>
福島県立磐城桜が丘高等学校		<p>エコ・キャッチフレーズを作成して全校でエコに取り組んだ。          &lt;福島議定書「磐城桜が丘高等学校エコメッセージ」最優秀作品&gt;          最優秀賞・・・ チーム、桜が丘。合言葉は、「MOTTAINAI」          優秀賞・・・ 「エコ活動 減らそう無駄を 増やそう笑顔」、「エコすっぺよ！」</p>

平成20年度 「福島議定書」事業 【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立平工業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートを学校内と家庭内を対象に、9月と12月に実施し結果をとりまとめた。</li> <li>広報チラシの作成や、節電・節水の呼びかけラベルの貼り付けを実施した。</li> <li>電気工事士の実技練習後の電線のビニール被膜をはがし、中の銅を取り出し、再利用や業者売却している。</li> <li>アルミ缶を回収し、売却益で車椅子を購入し老人ホームへ寄贈している。</li> <li>ごみを捨てる際に分別を徹底している。</li> </ul>
福島県立いわき総合高等学校	H20入賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島議定書による取組項目・削減目標を掲示し意識してもらうようにした。</li> <li>電気では、廊下の蛍光灯を減らしたり、不必要な照明を消したりと小さなことの積み重ねで削減できた。</li> <li>水道では、女子トイレに「オトヒメ」を設置した。</li> <li>放課後の教室使用について、年次ごとに生徒を集めて行うこととし、現在も取り組んでいる。</li> </ul>
福島県立いわき光洋高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会とタイアップして「YOU! ECOしちゃいなよ!」をキャッチフレーズを設けて取り組んだ。</li> <li>強化週間を設けて、不必要な照明の消灯、水道使用量削減に向けた配慮、の2点を重点的に行った。</li> </ul>
福島県立湯本高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>教室や体育館の電気を細かく分けて点灯（部分点灯）し、節電を図る。</li> <li>暖房費の節約の一環で服装規定を見直し、クールビズ・ウォームビズの考えを浸透させる。</li> </ul>
福島県立いわき海星高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下及びトイレの電気はPM4:00まで使わなかった。</li> <li>教室の電気は天気の良い日は使わなかった。</li> <li>ゴミ袋は使用しない。</li> </ul>
福島県立磐城農業高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>水道管の口径を細くした。</li> <li>教室以外の蛍光灯を半数近くはずした。</li> <li>昼間の消灯を徹底し、節電・節水に取り組んだ。</li> </ul>
福島県立勿来高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数の減に伴い、使用しない教室の増、水道使用回数の減、コンピュータ使用減などが要因と思われる。</li> </ul>
福島県立遠野高等学校	H19優秀賞 H20最優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>使わない教室の電気を消す（家庭クラブ見回り）。晴天日は電気を消す。</li> <li>トイレの音消しをやめる。節水コマの設置。</li> <li>ポスター作成・掲示による呼びかけの実施。</li> <li>エコバッグ使用（エコバッグ製作）</li> <li>文化祭での校内発表</li> </ul>
福島県立四倉高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会役員により二酸化炭素削減の呼びかけを録音し、毎日の昼休みに放送した。</li> <li>取組みの途中経過を「事務室ニュース」を発行して教室などに掲示。最終結果を知らせる「事務室ニュース」を発行し、目標達成感を学校全体で共有。今後一層の取組につなげたい。</li> <li>昨年度から、昇降口や廊下の蛍光灯を必要最小限に間引いている。</li> </ul>
福島県立いわき翠の杜高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめにコンセントを抜いたり、電気を消している（教室移動の際は必ず消灯を確認する）。</li> <li>ごみの分別収集の徹底。ごみを減らす努力（レジ袋はもらわない）。</li> <li>学校周辺のクリーン活動（清掃、ゴミ拾い）、校内の環境緑化（プランターに草花を植えた）。</li> <li>プルタブ回収。</li> <li>ものを大切に使う意識をもった。</li> </ul>

平成20年度 「福島議定書」事業 【高等学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
東日本国際大学附属昌平中学高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ暖房便座は冬季以外停止。教室を使用しない場合の消灯。体育館アリーナ照明は昼休みと使用しないときは消灯。野球場の無駄な点灯をしない。教室空調の温度管理。パソコンの電源管理。</li> <li>・トイレの節水型蛇口使用。</li> <li>・生徒弁当を回収型の弁当箱使用。</li> </ul>
いわき秀英高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電、節水に努めている。</li> </ul>